



**ユ**ネスコは、国連の教育科学文化を担当する専門機関であり「世界の平和」を実現することを最大の目標にしているそうです。

熊倉さんは教員を退職後、恩師に誘われてこの活動に関わるようになりました。日本ユネスコ協会連盟の評議員をなさると同時に、佐野ユネスコ協会会長として現在も、市内での「教育」「地域文化活動」「平和活動」などの多方面でご尽力され、令和2年には栃木県青少年育成県民会議表彰を受賞されました。

2月11日、佐野市文化会館において佐野ユネスコ協会主催の「第14回佐野新人演奏会」が開催されました。音大卒業生の演奏のお披露目の場とし、それを契機として地域の音楽文化発展のために一層励んでいただきたいとの趣旨のもと、開催されていると聞きました。今回は13人の若い人の力強くて、素晴らしい演奏が披露され、来場者の皆さんから温かい声援が贈られ拍手喝采でした。演奏家の卵

## キラリ話題の人

### 熊倉 勝さん

佐野ユネスコ協会会長  
栃木県ユネスコ連絡協議会会長  
日本ユネスコ協会連盟評議員  
佐野市文化協会参与



▲第14回佐野新人演奏会記念写真

## 平和を願って

の皆さんも次回、佐野市で演奏する時は、より一層素晴らしいプロの演奏家として舞台に立っていることでしょう。

長い間教鞭を執ってこられた熊倉さんは、これからも次世代を担う子どもたちに細やかな目を向け、同時に老若男女問わず、助け合いの心や平和の大切さを認識してもらい、地域の文化の大切さも伝えていきたいと話してくれました。

最後に「今、なお続くウクライナ戦争で大変心痛めています。強く感じることは『人の心』が平和の砦であってほしいと願っています」と熱く語ってくださいましたのが印象的でした。

(市民記者 葛貫郁子)



▲ユネスコ世界遺産移動写真展の説明をする熊倉さんの様子

## ようこそ 市長室からこんにちは!



佐野市長  
金子 裕

新年度となり、入学、入社など新たなスタートを迎えた皆さん、誠におめでとうございませう。新しい環境に慣れることは大変なことですが、夢や希望に向かって進んでください。

さて、今月は教育・子育てについて少しお話ししたいと思います。

### ①本市のアクティヴ教室

4月はクラス替えや進学など、不安を胸に抱きながら登校する児童生徒も多くあります。そういったときには、**学校や教育センター**※にご相談ください。また、教育センター内には、学校への登校に不安を感じる子どもたちの居場所である**アクティヴ教室**が設置されています。アクティヴ教室では、さまざまな活動を通して経験を重ね、人と人とのかわりを大切にしながら成長できるように支援しています。お子さまの学び・成長のため、一緒に考えさせていただきますので、ご家族

だけで解決しようとせず、お気軽にご相談いただきたいです。

### ②子宝祝金の見直し

申請できる期間を申請しやすいよう変更するとともに、第3子以降の出産に対して、子一人につき10万円を支給していた子宝祝金を見直し、この4月より第1子から支給することとしました。第1子、第2子は3万円、第3子以降は5万円(特例として令和5年度中の出生は10万円)とし、受給できる世帯とそうでない世帯の間の不公平感を減らし、次代を担う子の出産奨励として、より効果的な事業としました。

20年後、30年後を見据えた取り組みを今後も実施していきますので、今年度もよろしくお願ひします。

※教育センター ☎(20)31008

上羽田町1-34番地  
お気軽にご相談ください。



- ①路地裏に優しく明かりが灯りました
- ②生まれ変わった広場は、どんなたでも自由に利用することができます
- ③毎月20日は、近所のごみ拾いを行っています



▲詳しい活動の様子はこちら

## 人・過去・未来をつなぐ ぱっと二条プロジェクト

佐野駅南開発の波から逃れた故に、ノスタルジックな昭和の風景が残る二条通りと呼ばれる一角があるのをご存じですか？ そんな街の隙間を再び人々が集える場所にしたいと願う有志が「ぱっと二条プロジェクト」を立ち上げました。

20年ぶりに明かりが灯された背の高い街灯は、行き交う人の肩がぶつかるほどにぎわっていたという時代を思い起こさせるたたずまいです。うっそうと木が生い茂っていた空き地は、再利用の大谷石が敷き詰められ、木のフェンスで囲い、テーブルと椅子がある明るい広場に生まれ変わりました。

現在、飲食店やゲストハウスなど5店舗ほどが営業していますが、近々カフェもオープン予定。プレオープンイベントも計画中です。

今後は空き家を確保して受け皿を増やし、いろいろな思いを持った人が楽しめる場所にしていきたいそうです。(市民記者 小林春美)

たくさんのキャラクターが、さのまるの誕生日をお祝いしました



## 参集型としては4年ぶり！ 第7回さのまるの日イベント開催

2月25日のさのまるの誕生日に合わせ、2月26日(日)に佐野市文化会館とその周辺で開催しました。

大ホールで行われた「ご当地キャラクターステージ」は、当初観覧人数500人の事前予約制でしたが、1,300人以上の応募があったため、座席枠を拡大して行われました。

会場周辺では、キャラクターブースや佐野らーめんなどを販売するご当地グルメエリアのほか、ファーフアードームなど子どもも楽しめるファミリーエリアや屋台・キッチンカーエリアがあり、当日は会場全体でおよそ3,500人の方にご来場いただき、大いににぎわいました。

ニンニクと野菜をたっぷり使ったパワフルな天理ラーメンも提供



## 予備校出身者から4人目！ 佐野らーめん予備校から新規開業

ご当地グルメ「佐野らーめん」を移住施策にしたプロジェクトで、佐野らーめん店を開業したいという人を移住先の仕事として支援する「佐野らーめん予備校」。

これまで同予備校出身者として「晴れる屋(大和町)」「麵屋プラス(堀米町)」「佐よし(吉水町)」の3店舗が開業していますが、新たに4店舗目となる「麵屋大円(大橋町)」がオープンしました！

奈良県出身のオーナー辰己幸治さんが、佐野らーめんだけではなく、ニンニクと野菜をたっぷり使った「佐野スタらーめん」を新たに開発しました。ぜひご賞味ください。